

**三菱電機株式会社** 〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3 (東京ビル)

お問合せは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒100-8310	東京都千代田区丸の内 2-7-3 (東京ビル)	-----	(03)3218-6740
北海道支社	〒060-8693	札幌市中央区北 2 条西 4-1 (北海道ビル)	-----	(011)212-3793
東北支社	〒980-0011	仙台市青葉区上杉 1-17-7 (仙台上杉ビル)	-----	(022)216-4546
関東支社	〒330-6034	さいたま市中央区新都心 11-2 (明治安田生命さいたま新都心ビルランド・アクシス・タワー)	-----	(048)600-5835
新潟支店	〒950-8504	新潟市東大通 2-4-10 (日本生命ビル)	-----	(025)241-7227
神奈川支社	〒220-8118	横浜市西区みなとみらい 12-2-1 (横浜ランドマ・クタワー)	-----	(045)224-2623
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡 3-1-1 (金沢バ・クビル)	-----	(076)233-5502
中部支社	〒450-8522	名古屋市中村区名駅 3-28-12 (大名古屋ビル)	-----	(052)565-3326
豊田支店	〒471-0034	豊田市小坂本町 1-5-10 (矢作豊田ビル)	-----	(0565)34-4112
関西支社	〒530-8206	大阪市北区堂島 2-2-2 (近鉄堂島ビル)	-----	(06)6347-2821
中国支社	〒730-8657	広島市中区中島町 3-25 (ニッセイ平和公園ビル)	-----	(082)248-5445
四国支社	〒760-8654	高松市寿町 1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	-----	(087)825-0055
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神 2-12-1 (天神ビル)	-----	(092)721-2247

サービスのお問合せは下記へどうぞ

**三菱電機システムサービス株式会社**

北日本支社	〒984-0042	仙台市若林区大和町 2-18-23	-----	(022)238-1761
北海道支店	〒004-0041	札幌市厚別区大谷地東 2-1-18	-----	(011)890-7515
東京機電支社	〒108-0022	東京都港区海岸 3-19-22 (三菱倉庫芝浦ビル)	-----	(03)3454-5521
神奈川機器サービスステーション	〒224-0053	神奈川県横浜市都筑区池辺町 3963-1	-----	(045)938-5420
関東機器サービスステーション	〒331-0811	さいたま市吉野町 2-173-10	-----	(048)652-0378
新潟機器サービスステーション	〒950-8504	新潟市東大通 2-4-10 (日本生命ビル 6F)	-----	(025)241-7261
中部支社	〒461-8675	名古屋市東区矢田南 5-1-14	-----	(052)722-7601
北陸支店	〒920-0811	金沢市小坂町北 255	-----	(076)252-9519
静岡機器サービスステーション	〒422-8058	静岡市駿河区中原 877-2	-----	(054)287-8866
関西機電支社	〒531-0076	大阪市北区大淀中 1-4-13	-----	(06)6458-9728
京滋機器サービスステーション	〒612-8444	京都市伏見区竹田中宮町 8	-----	(075)611-6211
姫路機器サービスステーション	〒670-0836	姫路市神屋町 6-76	-----	(079)281-1141
中四国支社	〒732-0802	広島市南区大州 4-3-26	-----	(082)285-2111
四国支店	〒760-0072	高松市花園町 1-9-38	-----	(087)831-3186
倉敷機器サービスステーション	〒712-8011	倉敷市連島町連島 445-4	-----	(086)448-5532
九州支社	〒812-0007	福岡市博多区東比恵 3-12-16	-----	(092)483-8208
長崎機器サービスステーション	〒850-8652	長崎市丸尾町 4-4	-----	(095)834-1116

**三菱電機 FA 機器 TEL・FAX 技術相談**

《TEL 技術相談》

受付 / 9:00 ~ 19:00 (月曜、火曜、木曜)  
9:00 ~ 17:00 (水曜、金曜)  
(土曜、日曜、祝祭日は除く)  
: 姫路製作所... (079)298-9868

《FAX 技術相談》

受付 / 月曜 ~ 金曜 (土曜、日曜、祝祭日は除く)  
9:00 ~ 16:00 (ただし、受信は常時)  
受付 FAX (052)719-6762... (FAX 技術相談センター)

**インターネットによる三菱電機 FA 機器技術情報サービス**

MELFANSweb ページ: <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb/>

JZ990D27001C1

この印刷物は 2006 年 10 月の発行です。なお、お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。この印刷物は、再生紙を使用しています。

2006 年 10 月作成

# MITSUBISHI

## 三菱手動電源

### LL-05ZX

### 取扱説明書

**安全上のご注意**

(ご使用前に必ずお読みください)

安全にお使いいただくために	
●製品のご使用に際しては、この取扱説明書をよくお読みいただきと共に、安全に対して十分に注意を払って、正しいご使用をしていただくようお願いいたします。	<p><b>◇ 危険</b> 取扱いを誤った場合、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。</p> <p><b>△ 注意</b> 取扱いを誤った場合、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合。および、物的損害のみの発生が想定される場合。</p>
●本製品は厳重な品質管理体制の下に製造しておりますが、本製品の故障により重大な事故または損失の発生が予想される設備への適用に際しては、バックアップやフェールセーフ機能をシステム的に設置してください。	

なお、この取扱説明書では安全注意事項のランクを「危険」、「注意」として区分してあります。その意味とシンボルは右記のとおりです。

「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

<p><b>◇ 危険</b> 引火・爆発の危険がある雰囲気では使用しないでください。</p>	<p><b>◇ 危険</b> 改造・分解は行わないでください。</p>
<p><b>◇ 危険</b> 火災・爆発の原因となります。</p>	<p>改造・分解は行わないでください。故障の原因となるほか、火災や損傷等の事故の危険があります。</p>
<p><b>△ 注意</b> 周囲環境をご確認ください。</p>	<p><b>◇ 危険</b> ネジ穴加工や配線工事を行う時に、切粉や電線屑を落とさないでください。</p>
<p>ほこり・油煙・導電性ダスト・腐食性ガスのある場所や、高温・結露・風雨にさらされる場所に取付けないでください。また、振動・衝撃の加わる場所には直接取付けないでください。製品の損傷・誤動作あるいは劣化を招くことがあります。</p>	<p>製品内に切粉や電線屑が入ると、製品の損傷・発煙・発火・誤動作等を招くことがあります。</p>
<p><b>◇ 危険</b> 電流容量に見合った太さの電線を使うように設計してください。</p>	<p><b>◇ 危険</b> 製品を廃却する時は、産業廃棄物として扱ってください。</p>
<p>配線は電流容量に見合った太さの電線を使ってください。電線が細いと絶縁皮膜が溶けて絶縁不良となり、感電・漏電の恐れがあるほか、火災の原因となります。</p>	<p><b>△ 注意</b> SW端子に接続する機器の耐圧を充分に取ってください。</p>
<p><b>◇ 危険</b> 取付け、配線工事は外部電源を全相遮断してください。</p>	<p>製品を損傷します。SW端子はAC電源と絶縁されておりませんので、接続する機器の耐圧を充分取ると共に、機器側でSW端子を接地しないで下さい。</p>
<p><b>◇ 危険</b> 必ず外部電源を全相とも遮断して、取付け・配線作業を行ってください。感電または製品損傷の原因となります。</p>	<p><b>△ 注意</b> 空き端子は使わないでください。</p>
<p><b>◇ 危険</b> 濡れた手でスイッチやキーを操作しないでください。</p>	<p>AC電源は指定の端子に正しく接続すると共に、空き端子は外部で使わないでください。製品損傷の恐れがあります。</p>
<p><b>◇ 危険</b> 濡れた手でスイッチやキーを操作しないでください。感電の原因となります。</p>	<p><b>◇ 危険</b> 通電中および運転中はカバーを開けないでください。</p>
<p>【付記】</p> <p>●三菱電機および三菱電機指定以外の第三者によって修理・分解・改造されたこと等に起因して生じた損害等につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。</p> <p>●この安全上のご注意および本文に記載されている仕様はお断りなしに変更することがありますのでご了承ください。</p>	<p><b>◇ 危険</b> 本体厚、端子カバー等を開けたままで通電および運転を行わないでください。高電圧部が露出している場合があり、感電の危険があります。</p>



## 1 まえがき

この電源は ZX 形三菱パウダブレーキ用の専用電源であり、AC100V, 50/60Hz の交流電源から DC80V の直流電圧を得て、パウダブレーキを励磁するためのものです。

## 2 仕様

入力電圧 AC100/100/110V ( -15 ~ +10% ) 50/60/60Hz

出力特性

出力最大値：併用するパウダブレーキに応じて、内蔵スイッチにより下記表のとおり設定します。

スイッチの設定 ( × :OFF, ○ :ON)				出力 最大値 (A)	適用パウダブレーキの形名
1	2	3	4		
×	×	×	×	0.040	
	×	×	×	0.080	
×		×	×	0.120	ZX-0.3YN-80, ZX-0.6YN-80
		×	×	0.160	ZX-1.2YN-80
×	×		×	0.200	

### 注1

左記以外の設定では使用しないでください。

### 注2

出荷時は ZX-0.3YN-80, ZX-0.6YN-80 の設定となっております。

出力設定：出力設定ボリュームによる手動設定（最大値は上記表による）

急停止出力：外部接点入力により選択可

設定値は“S.ADJ”ボリュームにより出力最大値までの範囲で設定可変

制御方式 トランスレスパルス幅制御方式による定電流出力制御

質量 約 500 g

環境 周囲温度：0 ~ +40

周囲湿度：35 ~ 85%RH (結露なきこと)

振動：JIS C0040 に準拠 10 ~ 55Hz 0.5mm (最大 19.6m/s<sup>2</sup>)

雰囲気：腐食性ガスや塵埃のないこと、また雨や水滴がかからないこと。

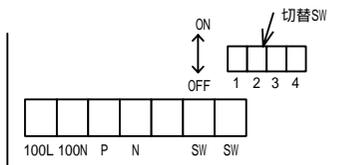
## 3 取付および配線

周囲温度 40 以下でなるべく乾燥していて、ほこりや振動の少ないところに取付けてください。取付けはパネル取付け、据置取付けのいずれの取付でも可能です。

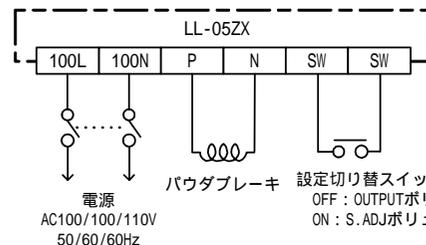
カバー固定用のツメをカバー側面から押し、カバーを上方に外し、内蔵の端子に正しく配線してください。

## 4 出力最大値の設定

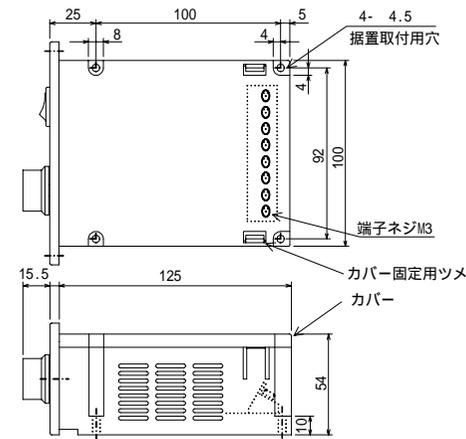
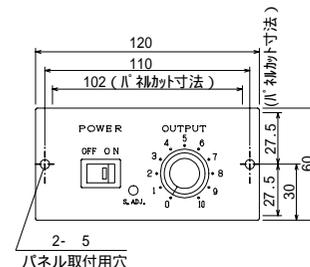
カバーを取外し、併用するパウダブレーキに応じて内蔵の切り替えスイッチ（右図参照）を設定してください。



## 5 外部接続・外形寸法



急停止の必要が無い場合は、設定切り替えスイッチは不要です。



## 6 絶縁・耐圧テスト

制御盤の絶縁抵抗や耐圧を測定するときは、万一の誤配線や誤操作があったときに本装置が損傷するのをさけるため、本装置のすべての配線をはずしてから制御盤側のみで実施してください。

本装置の絶縁抵抗テスト、耐圧テストは行わないでください。

## 7 注意事項

この製品は電源を OFF した後の約 3 分間はコンデンサに電圧が残っていますので、この間は内部の部品や端子部には触れないでください。

この製品の POWER スイッチは片切りとなっております。POWER スイッチが OFF であっても感電の恐れがありますので、端子台への配線時や点検時などに内部部品にさわるときには、必ず [100L], [100N] の両端子とも電源から切り放した状態で行ってください。

この製品は負荷短絡などに対しては、出力遮断機能などによって保護されるように設計されており、通常はヒューズが溶断することはありません。なんらかの異常によりヒューズが溶断した場合には製品内部の部品も損傷しているため、製品ごと交換してください。